

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産研究費

事業名 【新】飛騨牛研究部種雄牛舎等屋根改修工事

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産研究所 電話番号：0577-68-2226

E-mail：c24509@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,175 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,175	0	0	0	0	0	0	0	4,175
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

第2種雄牛舎については、建築から30年以上が経過しており、トタン屋根が部分的にさびているため、雨漏りが発生しており、飼料にカビが発生すること等を防止する必要があることから屋根改修工事が必要である。

第1堆肥舎については、建築から48年余が経過しており、トタン屋根が全体的に錆に覆われており、雨漏りが発生していることから、雨漏りにより堆肥が外に流れ出し、近隣の河川に流入することを防止する必要があることから屋根改修工事が必要である。

(2) 事業内容

畜産研究所飛騨牛研究部の種雄牛舎等屋根改修について令和6年度当初予算により実施設計費等を計上し、令和7年度に工事費等を計上する。

- ・実施設計委託費 4,158千円
- ・事務費 17千円

(3) 県負担・補助率の考え方
・ 県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	17	屋根改修工事を実施するための事務費
委託料	4,158	屋根改修工事を実施するための設計委託料
合計	4,175	

決定額の考え方

県全体の長寿命化予算平準化の観点から、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担
令和6年度の実施設計を基に、改修事業費を算定する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

畜産研究所飛騨牛研究部場内の種雄牛舎、堆肥舎について、令和7年度中に屋根改修工事を実施したい。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①設計委託				1		
②工事					1	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今回要求の牛舎と堆肥舎を始めとし、畜産研究所飛騨牛研究部においては各種の施設、農機具及び備品等が老朽化してきており、飼養管理に支障を来す場合も生じていることから、計画的な改修・更新が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 畜産研究所における施設維持管理の整備は、種雄牛の安全な飼養管理を実施するため及び安全、安心な肉用牛の供給に資するための研究を継続するため、飛騨牛振興に必要不可欠であることから、着実に事業を進める。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	
	【〇〇課】